

## 中学生と国際交流 JICA研修員が来校

JICA(独立行政法人国際協力機構)を通じて中南米13カ国から来日した研修員15人が5月28日、NPO法人自然塾寺子屋(矢島亮一理事長)の案内のもと甘楽中学校(井上高広校長)を訪問しました。研修員たちは英語の授業に参加し、生徒たちは英語であいさつや質問をして積極的にコミュニケーションを図りました(右写真)。石塚雄斗さん(3年)は「とても楽しかった。好きな食べ物や趣味を英語で聞いてうれしかった」と話しました。



授業の後は生徒と一緒に給食を食べながらさらに交流を深めました。生徒たちが研修員に箸の使い方を丁寧に教えたり、お互いの国の食文化などについて話し合ったりする様子が見られました。言葉の壁を越えて笑顔があふれ、互いの文化への理解と親しみを育む貴重なひとときとなりました。

◀箸の持ち方を教える生徒たち



## 学校がコンサートホールに 移動音楽教室



圧巻の演奏を披露したオーケストラ

公益財団法人群馬交響楽団の「移動音楽教室」が5月28日、甘楽中学校体育館で開催されました。同教室は昭和22年に始まり、音楽と触れ合う感動や楽しさを多くの児童生徒に伝えることを目的に、3年に1度開かれています。

演奏は午前と午後の2部構成で行われ、町内の小学生(4・5・6年)、中学生、教員など約600人がオーケストラによるクラシック音楽を鑑賞しました。

午前中の小学生の部では、リズムに合わせて手をたたいたりオーケストラの演奏に合わせて全員で歌ったり、楽しそうに参加する姿が見られました。

児童からは「生で聴く音がすごく大きくてびっくりした」「オーケストラと一緒に歌えて楽しかった」「本物の演奏ってこんなにすごいんだと思った」など感動の声が聞かれました。



演奏に合わせて歌声で参加

# 中学生が自らの思いを伝える

# 少年の主張



第39回少年の主張甘楽町大会

前列左から 林さん、田村さん、谷川さん、森田さん、荒屋さん、清水さん、高橋さん 植松さん、中島さん

第39回少年の主張甘楽町大会が6月13日、甘楽中学校体育館で開かれました。

代表生徒9人は、家庭や学校生活の中での体験を通じて感じたことなどを自分の言葉で力強く主張しました。堂々と発表する姿に会場内からは大きな拍手が送られました。

審査の結果は次のとおりです。最優秀賞の3人は、6月28日に神流町「こいこいアイランド会館」で開かれる西部地区郡大会に出場します。

賞	学年	氏名	題名
最優秀賞	1年	森田花絵	向き合う
	2年	荒屋こころ	手紙を書こう
	3年	清水空麗	自分らしさ

※各賞の学年順に掲載しています。(敬称略)

※発表内容は町ホームページをご覧ください→



賞	学年	氏名	題名
優秀賞	1年	林 愛莉	あいさつの大切さ
	1年	田村明花	時間の使い方
	2年	谷川絢香	大切な時間
	2年	高橋季歩	未来に繋げる日本の礼儀
	3年	植松結希歩	知らなかった温かさ
	3年	中島千菜乃	私たちなら大丈夫

## 人権擁護委員が表彰

富岡人権擁護委員協議会の総会が5月28日、富岡市生涯学習センターで開かれ、人権擁護委員の山田幸代さん(福島)が前橋地方法務局長表彰を受賞しました。

山田さんは令和2年から同委員を委嘱されており、地域住民の皆さんに人権思想を広めてきました。特に小中学校を中心に人権教室を通じて人権侵害が起こらないような啓発活動に尽力しており、その功績が認められました。



## 優勝は柴田ブルズ

第48回町春季野球大会の決勝戦が6月1日に甘楽野球場で開かれ、柴田ブルズが劇的なサヨナラ勝ちで優勝しました。

大会結果、個人賞は次のとおりです。(敬称略)

- 優勝…柴田ブルズ
- 準優勝…20区若連会
- ☆最優秀選手賞…飯塚裕貴(柴田ブルズ)
- ☆殊勲賞……………黒崎 忍(柴田ブルズ)
- ☆敢闘賞……………斉田竜輔(20区若連会)



優勝を決めた柴田ブルズの皆さん

# 3年ぶり優勝！関東大会決める あすなるジュニア

「第44回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会」県予選が6月15日、吉岡町社会体育館で開催され、あすなるジュニア(池田多春監督)が3年ぶりの優勝を果たし、7月25日から埼玉県熊谷市で行われる関東大会出場を決めました。

同チームは、6月8日の「第45回全日本バレーボール小学生大会」県予選では惜しくも第3位で全国大会出場を逃しました。

廣澤芽依主将は、「目標は全国大会出場だったので全国大会に出場できないのは悔しいです。それでも県大会を優勝して関東大会に出場するので、県代表としての誇りや応援してくれている関係者への感謝の気持ちをもってがんばってきます」と、力強く話していました。



県大会優勝を果たしたあすなるジュニア

## 夜の楽山園にホタルの舞

「第13回大名庭園のホタル鑑賞会」が、6月6・7・13日の3日間指定名勝楽山園で開かれました。

辺りが暗闇に包まれる頃、ホタルがゆっくりと尾を引くように光を放ちながら飛び交いました。幻想的な光景に多くの来場者は心奪われ、スマートフォンで撮影するなど初夏の風物詩を楽しみました。

御殿前通りにはキッチンカーも出店しにぎわいを添え、訪れた人たちは普段入れない夜の楽山園散策を楽しみました。



ホタルの光を探しながら散策する来場者

## オール甘楽の地酒づくり 今年もスタート

甘楽の地酒プロジェクト委員会は6月2日、甘楽北部の圃場で田植えを行いました。約30人が水田に入り横一列に並び、ぬかるむ足元に苦戦しながらも15センチ程に成長した苗を植えました。

今年で11年目になる同プロジェクトは『オール甘楽の地酒づくり』を掲げ、甘楽の水で町民が育てた米を原料に地元酒蔵が日本酒に仕上げています。

田植を終えた参加者は「自分で植えたお米でできたお酒を飲むのが今から楽しみです」と話しました。



横一列に並び苗を植える参加者たち

# 初夏の鉢植展示会

甘楽町鉢植クラブ(田中宏一会長・会員24人)の初夏の鉢植展示会が5月23~25日、文化会館で開催されました。主木に下草をそえた席飾りや、緑が映えるように黄色の鉢を使って工夫した飾り付けなど見応えのある作品が多数並びました。来場者からは「手間がかかっているんだろうね、すごいね」と感嘆の声が上がりました。

田中会長は「鉢植えの魅力を身近に感じてもらえる展示となりました。興味のある人はぜひ会員になって一緒に楽しみませんか」と話しました。



作品のこだわりに見入る来場者と田中会長(左)

# 秋が楽しみ サツマイモ苗植え付け

かんら保育園(妙見良子園長)の年長児・年中児合わせて46人が6月6日、高橋さん(福島)の畑を借りてサツマイモの苗の植え付けを行いました。

園児たちは高橋さんから植え方を教えてもらい、等間隔で開けた穴に苗を植え土をかぶせ「美味しいお芋になあれ」と声をかけながら水やりをしました。

作業が終わると「早く大きくなってほしいな」「サツマイモパーティが楽しみ」と、秋の収穫に思いをふくらませていました。



苗を植える園児たち

# おもちゃをつくったよ

子育て支援「どんぐり広場」が6月12日、めぶきの森かんら(矢野勅仁園長)で行われました。

未就園児を対象に親子で楽しく触れ合ったり、親同士も交流して親睦を深めることができる場で、この日は親子でラップの芯を使った手作りおもちゃに挑戦しました。

「どんぐり広場」は月4回行っており、参加には3日前までの電話予約(☎67-5135)が必要です。



# どんぐり広場で交流



マーカーでカラフルな絵を描く親子

# 英語であそぼう！ にこにこ English

英語の歌や遊びを通して親子で英語に親しむ「にこにこ English」が6月16日、子育て支援センター「にこにこキッズかんら」にて開催されました。0～3歳の子どもと保護者を対象に、英語に親しむきっかけづくりとして企画されたこの教室は地域おこし協力隊員の阿部万里奈さん・稲葉エンツァさん・関根想乃さんが講師を務め、毎回テーマを変えて楽しく英語を紹介します。

今回は「色(Color)」をテーマに英語の歌を一緒に歌ったりカラーボールを使った遊びを通して身近な英語表現を学びました。



▲会場を盛り上げる講師の3人



▲歌にあわせて英語に挑戦♪

「レッド」「イエロー」「ブルー」などの色を元気に発音する子どもたちの声が会場に響き、保護者も一緒に手拍子をしながら笑顔で参加していました。

娘の和花ちゃん・玲実花ちゃんと参加した新嶋花蓮さんは「普段なかなか英語に触れる機会がないので、歌や遊びで楽しく学べて嬉しいです」と笑顔で話してくれました。次回は7月28日(月)に開催予定です。



申込みはこちらから→

## 3 ペアが関東大会へ 町ジュニアソフトテニス

第44回関東小学生ソフトテニス選手権大会群馬県予選会が、4月12日に低学年の部が藤岡市庚申山総合公園で、5月11日に高学年の部が高崎市上並榎庭球場で行われました。

県内各地のクラブから多数の選手が出場するなか、低学年の部では甘楽町ジュニアソフトテニスクラブ(外所淳也代表)の中野心愛さん(新屋小・3年)が沼田ジュニアの神尾さんとペアを組み、見事優勝を果たしました。

高学年の部では、同クラブの中野零空さん(新屋小・5年)が伊勢崎フレンズの川端さんと、高橋晃埜さん(小幡小・6年)が沼田ジュニアの齋藤さんとそれぞれペアを組んで出場。中野・川端ペアが6位、高橋・齋藤ペアが7位に入賞しました。

いずれも7月に茨城県で開催される関東小学生ソフトテニス選手権大会への出場を決めました。



関東大会出場を決めた中野零空さん(左)・中野心愛さん(中央)・高橋さん(右)